

コピーして使おう!

DHの
フロク

患者さんのやる気を引き出し、継続してもらうために!
このコーナーでは、「脳科学」や「心理学」に基づいた
効果的なツールをご紹介します。

ツールNo.2

ぬりえ de リスク部位

“思い出してもらおう”ことで、 リスク部位が頭に刻まれる!

「次は、ここを気をつけて磨きましょう!」

患者さんにリスク部位を伝え、把握してもらうことはとても大切。

でも、何度も繰り返し言われるより、自分で「どこだったかな?」と思い出すほうが実は記憶に残るのです。

今回のフロクは、患者さんが自分のリスク部位に色をぬるシート。

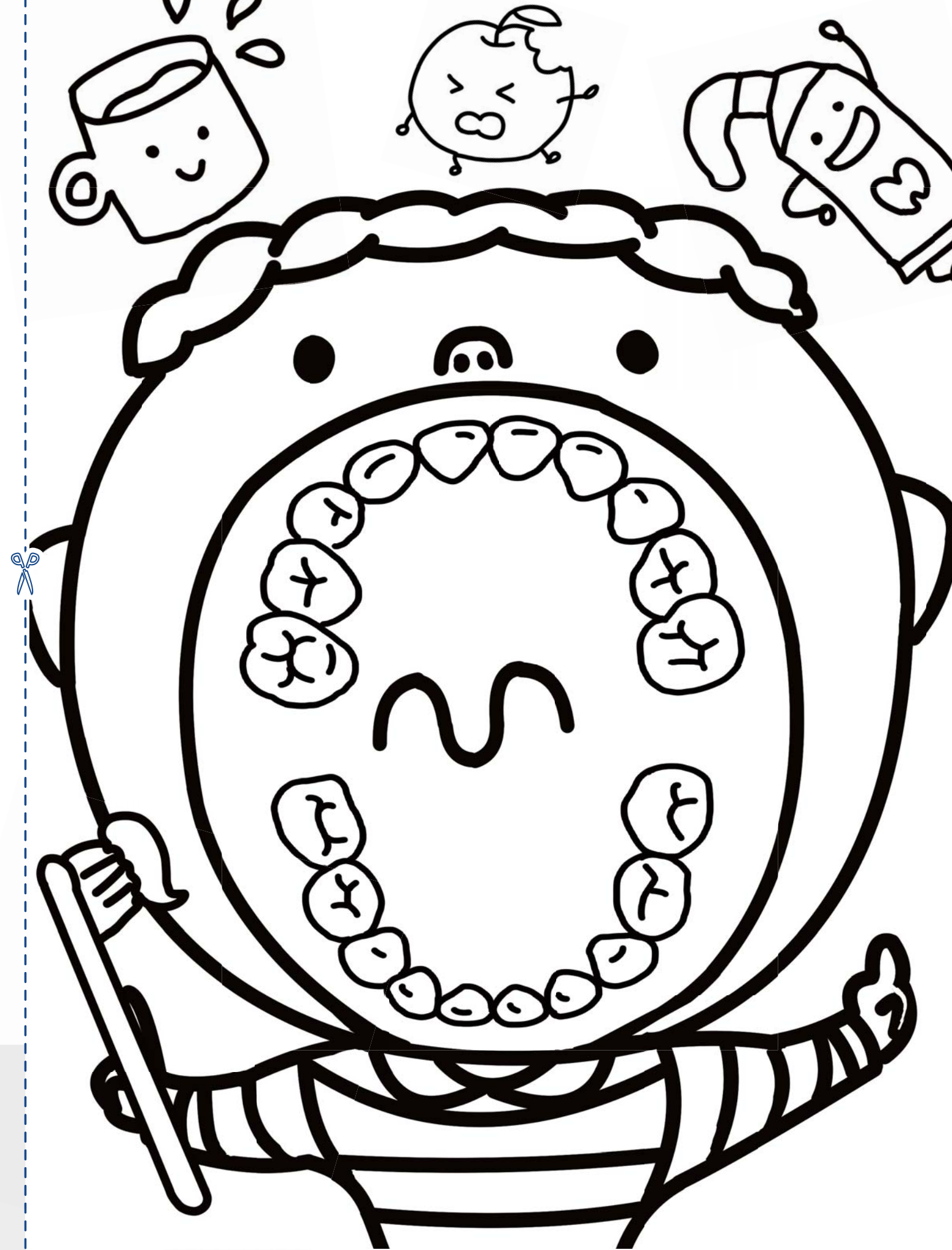
好きなペン、好きな色で楽しくぬるうちに、リスク部位が自然と頭に入ります!

ワンポイント脳科学

情報を何度もインプットするより、
“思い出す”ほうがしっかり記憶に残る
身体を動かすことで、脳の活動がさらにアップ

使い方

- ① ツールをコピーして切り取る
- ② リスク部位にチェック✓を入れる
- ③ お家に持って帰ってもらい、✓のついているところに色を塗ってもらう
- ④ 次の来院時に持ってきてもらう



ツールを使った感想を、ぜひ編集部までお寄せください!

EMAIL: tuftclub@oralcare.co.jp